ヘッドプロジェクト

めざす子ども像

○自分の考えをもつことができる子ども
○友だちと意見交換する中でさらに考えを深め共通のものにしていく主体的な学びのできる子ども

授業研究（研究の柱）

【伝え合う力】

聞く力
聞き比べる
聞き分ける
素直に好意的に聞く

話す力
自分の意見とその理由を言うことができる。

【モデル】

算数科において単元を貫く基本的な考え方に基づく子どもの思考・表現の手助けとなる図等

～今年度の課題～

モデルの**系統性・関連性**

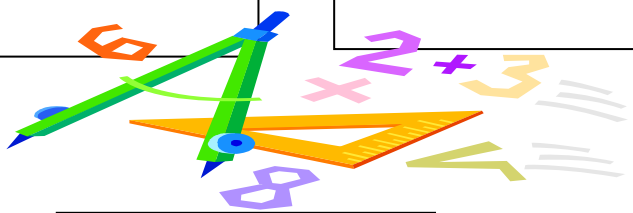
活用する力の育成

【指導形態】

Ｔ・Ｔ
Ｔ１が主指導、Ｔ２が補助指導。Ｔ２の役割として「寄り添い」「期間巡視」「Ｔ１・Ｔ２の入れ替わり」「誤答・少数派への後押し」等

少人数
学級を２つに分けるか学年を３つに分けて授業を行う。
一人ひとりの子どもに目を向けることができる

習熟度
単元のまとめなどは子どもの理解に応じた指導を行う



授業を支えるもの（環境）

【帯タイム】

計算タイム
反復練習による計算力の向上
漢字タイム
新出漢字の学習
語彙の定着
読書タイム
本への興味関心
言語力の習得
学習タイム
授業内容の定着の保障
想起の時間
当日の学習内容の定着

【学習規律】

学習のきまり
学習準備
挨拶、返事、姿勢
学習の約束
聞く・話す
読む・書く等
「モデル」の扱い方

【家庭との連携】

家庭学習
学習内容の定着
言語力・計算力の向上

学習環境づくり
意識調査より

計算タイム風景